

授業科目(ナンバリング)	長期インターンシップ (CE201) (実践的教育科目)			担当教員	国際観光学科専任教員		
展開方法	講義・実習	単位数	6～14 単位	開講年次・時期	2年・集中	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
<p>本科目は、将来の観光産業の中核を担う人材になるため、長期に渡って企業の一員として実践的な就労体験を行い、学内で学んだ理論と実践の有機的結合を図り、観光を総合的に学ぶことを目的とする。同時に、長期に渡る一連の実務実習を通し、キャリア形成のための基礎力を高め、「社会人基礎力」を向上させることがねらいである。</p>							④⑦⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> 社会人として必要な幅広い教養的知識を有し、規律正しい態度で取り組むことができる。 				<ul style="list-style-type: none"> メンターの評価表 事前・事後学習の態度 	20% 10%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> 進捗状況の報告や課題の進め方についての相談、質問や意見などコミュニケーションを積極的に行うことができる。 研修先の業務内容や自身の目標の達成度などをわかりやすく説明することができる。 				<ul style="list-style-type: none"> メンターの評価表 プレゼンテーション 	20% 10%	
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> 研修先で業務内容に適した行動をとることができる。 実務実習を通して、観光に関わる諸問題を見出すことができる。 研修先の業務に関わる基礎的な知識を有し、業務内容を的確に理解することができる。 				<ul style="list-style-type: none"> メンターの評価表 ポートフォリオ内容 	20% 20%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>実習日誌・ポートフォリオの内容や研修先のメンター（指導担当者）からの評価、研修中の学習態度、研修後のプレゼンテーションなどから総合的に評価する。学生へのフィードバックは適宜行う。</p>							
授業の概要							
<p>研修は、就業体験と事前事後の学習より構成される。研修先の選択については、別途配布される資料で確認し、履修時に希望を提出する。長期インターンシップの特徴は、実践型の科目であり、座学以外の実務実習期間は有給である。また、メンター（指導担当者）制度やポートフォリオ（自らの活動記録）の導入もその特徴といえる。さらに、本実習に関しては、卒業研究としてとりあげることもできる。本科目の修得単位のうち、2単位分は学科共通科目「インターンシップ A/B」に読み替えることができる。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：担当教員、及びメンターの指示による。 参考書：『長期インターンシップの手引き』を熟読すること。 指定図書：担当教員、及びメンターの指示による。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>履修する学生は、アルバイト体験とは異なる「就業」の実習であることを理解し、責任を持って行動することが求められる。また、以下の留意点とともに健康管理には十分注意して実務実習に臨むこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 欠勤する場合は担当教員に事前に報告する。やむをえない場合はインターンシップ先担当者に必ず連絡をすること。 事前研修には必ず参加し、指示された注意事項や実習生たるに相応しい服装や態度に留意する。 すべて長期インターンシップ担当者および担当教員の指示に従うこと。 インターンシップ先の担当者との円滑な人間関係の構築に努め、誠実であることが強く要求されると心得ること。 <p>※研修中の体調管理には留意し、既往症がある場合には必ず事前に申し出ること。 ※実習の受け入れ先からの要望、または大学の方針で実習前のPCR検査を課すことがある（検査費用は実費）。 ※一定の履修時間が確保されない場合は、実習途中で履修を解除し、単位認定を行わない場合がある。</p>							